

IV-126

日立市における海岸利用に関する研究

茨城大学大学院 学生員 志摩邦雄 茨城大学 正会員 小柳武和
茨城大学 正会員 山形耕一 大和ハウス工業 宮崎龍一

1. はじめに

海岸における利用または整備のためには、地域の人々が海に対して抱いている親しみや、海の持っている資質といったものを再確認することがたいへん重要である。

そこで本研究では、日立市の海岸を対象に、日立市民にアンケート調査を行い、市民の海岸に対する意識、海岸の利用状況を調査・分析することにより、市民が抱いている海岸の姿を抽出し、その評価を検討することを目的とする。

2. アンケート調査の概要

アンケート調査の概要を表1に示す。日立市を西部地区、北部地区、日立山側地区、日立海側地区、多賀山側地区、多賀海側地区、南部地区に7分割し、各地区の人口比に合わせ、合計成人1000人を無作為抽出した。回収されたアンケート票、有効回答743を集計、分析の対象サンプルとした。アンケート調査の配布、回収率および男女比は、図1に示す。

表1 アンケート調査の概要

調査地域	日立市全域
調査期間	12月中旬～下旬
調査方法	送付留置・訪問回収
調査対象者	日立市内在住の成人
有効回収率	743/1000=74.3%
対象海岸	日立市内の全16海岸

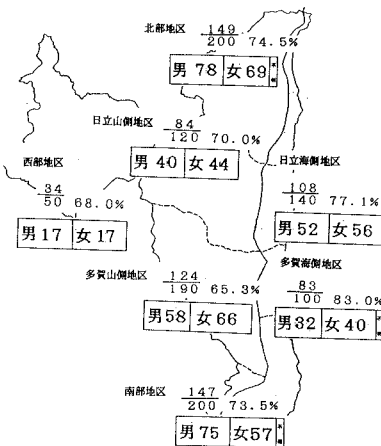


図1 地区別回収結果

3. 海岸別利用状況

有効回答数743から地区別海岸利用者数を図2に示す。これより、海水浴場である川尻、会瀬、河原子、水木、久慈浜海岸に利用者が多く、アクセス路の整備がされていない折笠、相田、成沢、大沼および海崖の上まで工場や民家が迫っている国分海岸は利用者が少ない。また地区別にみると、日立、多賀の山側、海側の4地区の住民は、各海岸を同程度に利用している。それに対し北部地区の住民は、浜の宮海岸以北、南部地区の住民は、会瀬海岸以南の海岸を主に利用している。

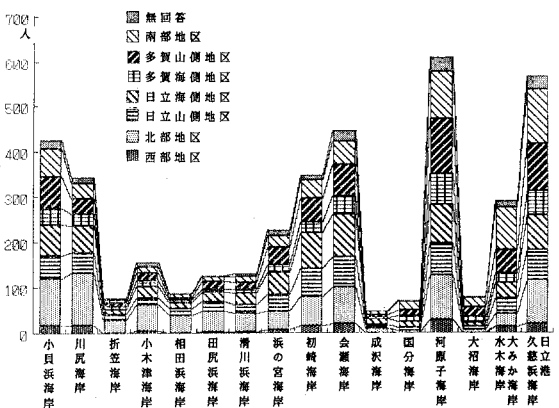


図2 海岸別利用者数

次に、海岸別の利用目的の違いを図3に示す。浜の宮海岸は、埋め立てた広場があるのでスポーツの

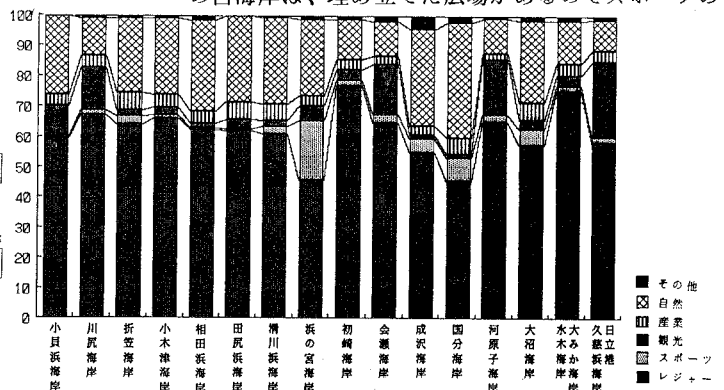


図3 海岸別利用目的

利用度が高く、観光での利用度が高い川尻、会瀬、河原子海岸は、夏に花火大会が催されること、久慈浜海岸では、「いきいき魚市」が催されていることが挙げられる。また、初崎海岸でレジャーの利用度が高いのは、会瀬海水浴場利用者が流れてきたためだと考えられる。海水浴客が多い会瀬、河原子、久慈浜海岸では、利用目的でみる限り他の海岸との差はない。

4. 海岸別の満足度

よくいく・好きな海岸を2つ挙げてもらい、それぞれの海岸について、表2に示す14項目を質、景観、豊かさ、整備、施設の5項目に分類し、満足度を3段階(満足=1・不満足=-1・どちらでもない=0)で表した(表3)。

表2 満足度の質問項目

項目	質問内容	項目	質問内容
質	海水のきれいさ 海岸の清潔さ	整備	駐車場のスペース 危険な場所の有無 海岸への近づき易さ 車でのアプローチ
景観	景観の良さ 砂浜の広さ	施設	トイレ、シャワー等の施設 休息のための施設 周辺飲食店の有無 各目的のための施設
豊かさ	魚影の濃さ、釣れ方 海岸周辺の緑の量		

表3 各海岸の満足度

項目	海岸別満足度	満足度	平均満足度	利用者数
小貝浜海岸	小貝浜緑地 海浜公園 川尻港	質 0.145 景観 0.285 豊かさ 0.375 整備 -0.128 施設 -0.042	-0.076	423
川尻海岸	川尻港 1993年 開港神社 万石港	質 -0.075 景観 0.080 豊かさ -0.180 整備 -0.076 施設 -0.413	-0.113	46.6
折笠海岸	1979年の野生 地 南野公園	質 0.10 景観 0.10 豊かさ 0.50 整備 -0.508 施設 -1.20	-0.508	10.6
小貝津海岸	小貝津 南野公園	質 -0.130 景観 0.015 豊かさ 0.500 整備 -0.136 施設 -0.623	-0.623	21.1
相田海岸	龍穴 相田港	質 -0.180 景観 -0.180 豊かさ -0.275 整備 -0.148 施設 -0.515	-0.515	12.1
田尻海岸	金巻港 金巻港	質 -0.460 景観 -0.236 豊かさ -0.480 整備 -0.308 施設 -0.415	-0.415	17.2
新川海岸	企業家の館 うの島公園	質 -0.080 景観 0.10 豊かさ -0.140 整備 -0.148 施設 -0.515	-0.515	17.8
浜の宮海岸	かき岩 浜の宮公園	質 -0.070 景観 0.070 豊かさ -0.095 整備 0.043 施設 -0.308	-0.308	30.7
初崎海岸	企業家の館	質 -0.135 景観 0.035 豊かさ -0.140 整備 -0.110 施設 -0.50	-0.50	47.1
会瀬海岸	会瀬海岸公園 会瀬港 会瀬港	質 -0.240 景観 0.110 豊かさ -0.115 整備 0.035 施設 -0.988	-0.988	80.2
成沢海岸	島木舟の 会瀬港	質 -0.585 景観 0.250 豊かさ 0 整備 -0.063 施設 -0.50	-0.50	6.7
国分海岸	企業家の館 会瀬港 会瀬港	質 0.20 景観 -0.23 豊かさ -0.05 整備 -0.388 施設 -0.80	-0.80	9.7
河原子海岸	河原子港 河原子港	質 -0.045 景観 0.220 豊かさ -0.089 整備 0.025 施設 -0.238	-0.238	82.1
大沼海岸	大沼港 大沼港	質 -0.365 景観 -0.215 豊かさ -0.145 整備 -0.038 施設 -0.435	-0.435	11.0
水木海岸	水木港 水木港	質 0 景観 0.270 豊かさ -0.105 整備 0.005 施設 -0.408	-0.408	39.3
大みか海岸	大みか港 大みか港	質 -0.280 景観 0.130 豊かさ -0.130 整備 0.030 施設 -0.475	-0.475	76.2
久慈浜海岸	久慈浜港 久慈浜港			
日立港	日立港 日立港			

* 海岸、港、漁港の区分 ** 1947～1984年の増減(宇多ら:茨城県海岸の海岸線変遷と地形, No.1, 7, No.3, 1986)

ここで平均満足度が+側にあるのは、57.6%の人が利用する小貝浜海岸だけで、その他全て一側にある。小貝浜海岸は、アクセス路や飲食店などの施設の整備に関して一評価を受けているが、質、景観、豊かさ、

特に景観と豊かさでは、16海岸中一番高い評価を受けている。この理由として、海崖と砂浜がポケットビーチを形成し、海崖の上は小貝浜緑地となっており遊歩道も整備されている。また馬の足跡や蚕養神社といった伝説伝承が残されている海岸であり、憩いの場として位置づけられていることが挙げられる。平均満足度で一番低い評価を受けている折笠海岸、また全ての面で一評価を受けている相田浜、田尻浜、大沼海岸は、図2で示すように利用者数の低い海岸と一致している。各項目をみると、質では小貝浜、折笠、国分、水木・大みか海岸以外は全て一評価である。水木・大みか海岸は、海崖でありその上から海を見おろすので質、景観は+評価になっていると考えられる。景観で一評価を受けている相

田浜、田尻浜、国分、大沼の4つの海岸は、先述の利用者の低い海岸と一致している。その他の12海岸では景観が評価されている。これは、日立市の海岸が台地形海岸で海崖が多く眺望がよいことに起因していると考えられる。その反面、豊かさで+評価を受けている

海岸は、小貝浜と小貝津海岸だけである。豊かさが評価されない理由として、海岸線まで開発が進み緑が失われていることが挙げられる。整備面では、海水浴場、海浜公園や漁港がある海岸は比較的良好な評価を得ている。施設面では、全ての海岸が一評価である。これは、図3から分かるように産業、観光、スポーツの利用率が少なく、そのための施設が整備されていないことが挙げられる。これについては、もっと官民共に積極的なアプローチが必要である。

5. おわりに

本論文により、現在の日立市の海岸は、①整備および施設をある程度必要とするスポーツや観光、産業が立ち後れている。②小貝浜海岸に代表される海崖や岬のある海岸の景観が、また海水浴を中心としたレジャー面の整備が評価を受けている。③良い資質を持ちながら高い評価を得ていない海岸がある。ということが明らかになった。今後の課題として、海岸の変遷を調査し、評価を得た整備・得られなかった整備を抽出し、整備の指針を明らかにすることが挙げられる。